



特集

令和7年度事業計画 栃木県本部 部門別具体策  
生産者の手取り確保と  
栃木県産米の安定供給に向けて

トピックス

都内で“たちつとちぎの農産物フェア”開催！  
「JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会」に特別協賛  
ビール大麦の安定供給に向けて情報共有  
都内スーパーで消費者にPR 適正価格へ理解醸成

CONTENTS

- ・令和7年度 新採用職員紹介
- ・お知らせ  
令和7年産米における集荷回復に向けて  
生産者への推進体制を強化します  
U字工事出演のラジオCM放送中！
- ・簡単レシピ  
『豚肉と新じゃがのプルコギ風炒め』
- ・子牛市場情報
- ・JAタウンからのお知らせ
- ・行事予定
- ・編集後記



JAグループ栃木 / JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



※金額は令和7年度取扱高計画、カッコ内は前年計画比  
 ※赤字は「不断の自己改革」に関する取り組み項目および重点取り組み事項  
 ※米麦部は6年度計画値に全農パールライス(株)と統合したパールライス事業を含む。

### 営農販売企画部

1億円 (31%)

- ① 組合員・会員JA等の声を反映したJA支援実行プログラムの計画的な実施
- ② 栃木県産農畜産物の消費拡大を目的とした、部門間連携による各種イベントや商談会への参加、メディア対応によるPRの実施および県内外量販店での栃木県産フェアの実施による売場確保
- ③ EC事業 (JAタウン) の活用による県産農畜産物の販売拡大
- ④ 生産者手取り向上に向けた県産農畜産物の輸出拡大
- ⑤ スマート農業・出向く体制強化・新規就農者育成等による生産基盤の維持・拡大
- ⑥ 水田をフル活用した土地利用型野菜の生産拡大と新規販路開拓
- ⑦ 環境保全型農業に対応した農業技術の普及
- ⑧ 営農支援システムの普及・拡大および営農指導のDX化

### 生産資材部

175億円 (105%)

- ① BB肥料の複数JAによる共通銘柄の取扱拡大や集中購買ならびに担い手直送規格農薬、高拡散除草剤の普及拡大等による生産コスト低減
- ② 環境保全型農業に対応した技術・資材の導入拡大
- ③ 未利用・低利用を含めた担い手・大規模経営体への対応力強化
- ④ 地球温暖化に適応した施肥防除技術の検討・開発
- ⑤ 受発注センターシステム導入による業務効率化
- ⑥ ICT搭載農機等、省力化・低コスト技術の導入提案力向上
- ⑦ 共同購入コンバイン、重点推奨型式、ブロック域での共同仕入れなどによるスケールメリットを発揮した生産コストの低減
- ⑧ 農機センターの中古農機事業・修理整備事業の拡大
- ⑨ トレーニングセンターを軸とした農機センター職員の修理・整備技術力向上のための人材育成と確保

### 米麦部

393億円 (124%)

- ① 需要に応じた主食用米および水田活用米穀の生産振興とJAとの連携によるJAグループ栃木全体としての集荷数量の拡大
- ② 販売力強化・流通コスト縮減による生産者手取りの最大化
- ③ 環境負荷低減に向けた秋耕や中干しなどの取り組みの実践
- ④ 検査員の継続的な育成と検査技術の維持向上
- ⑤ 麦の需要に応じた生産誘導による銘柄間ミスマッチの縮小および単収・品質向上対策の実施による生産者手取りの最大化
- ⑥ 大豆の単収向上対策による集荷数量の拡大
- ⑦ 米・麦・大豆種子の安定供給と将来を見据えた生産体制の構築

### 畜産部

363億円 (104%)

- ① 県産銘柄牛の認知度向上による販売力強化
- ② 次世代を担う若手生産者の組織と活動の充実
- ③ とちぎ食肉センターを起点とした肉豚の生販一体事業の構築
- ④ 部分肉・包装肉事業の安定化
- ⑤ 子牛集荷頭数拡大と増頭支援の継続による、生産基盤の確立
- ⑥ 家畜市場の機能見直しと、キャトルセンターのあり方検討
- ⑦ 牛特定疾病清浄化や豚熱防疫等の家畜疫病対策の強化
- ⑧ 環境に配慮した肥育の取り組み強化・促進

### 園芸部

637億円 (105%)

- ① 消費者ニーズに合ったアイテム対応およびロット拡大による安定した売場確保と販売拡大のための契約販売の強化による生産者手取りの最大化
- ② 生産基盤の維持・拡大および産地ブランドを活用した輸出事業の維持・拡大
- ③ 青果物広域集出荷センターの効率的な稼働に伴う生産者の出荷労力軽減による生産基盤の維持・拡大
- ④ 気候変動に応じた栽培技術の普及や物流課題への対応による花き出荷数量の維持・拡大
- ⑤ 園芸資材の低コスト・省力化・環境配慮対応への取り組み強化
- ⑥ 種苗センターの生産技術向上による良質苗の安定供給

### 管理部 (生活・施設含む)

111億円 (97%)

#### <生活事業>

- ① Webコースの開発やオプション強化等による員外利用を含めた宅配事業 (くらしの宅配便・食材宅配) 利用者の拡大
- ② 農産物直売所の売場活性化支援

#### <施設農住事業>

- ① 生産基盤の維持・拡大に資する農業施設の提案および機能維持・管理コスト低減に向けた提案

#### <管理>

- ① 内部統制システムの適正運用と職員の意識向上によるコンプライアンス態勢の維持・強化
- ② 2030年のめざす姿の実現に向けた全体戦略の着実な実践
- ③ JA・全農グループの社会的価値への理解促進、共感を得る広報活動の実施および適正な価格形成への理解醸成活動の実施
- ④ 要員の安定的な確保および人材育成の強化
- ⑤ 適正な労務管理と風通しの良い職場づくりのための職場環境の最適化
- ⑥ 環境変化に対応した、県域物流の効率的な物流体制の構築

# 生産者の手取り確保と 栃木県産米の安定供給に向けて

昨年の「令和の米騒動」以降、流通の混乱や価格高騰など、米をめぐる情勢は不安定な状況が続いています。その中で、全農とちぎ米麦部では、生産者の再生産価格を賄える手取り確保と栃木県産米の安定供給に向けて、実需者や関係各所と連携を取りながら様々な取り組みを進めています。

## 栃木米取扱拡大会議を開催 大手米卸4社と情報共有

3月14日(金)、栃木米の主要な取引先である大手米卸4社をお招きし、栃木米取扱拡大会議を開催しました。当日は、6年産米における課題の共有化とともに、7年産米に向けた本会の方針を説明・提案しました。

昨年の端境期における米の不足感により発生した「令和の米騒動」にともない、全体需給の変動による米価高騰の影響を受け、JAグループの集荷数量は計画・前年を大きく下回ることとなりました。その結果、取引先が要望する数量を供給することができず、販売面で多大なご迷惑をおかけすることとなりました。

7年産では、再生産価格を岩盤として保証したうえで、市中相場をふまえた最大限の概算金を設定することで集荷を結集し、安定供給を目指す方針を提案しました。

取引先からは、「集荷が増えるなら価格には最大限協力したい」、「生産者が作付けを継続できるよう応援していきたい」と、本会方針へご賛同いただきました。また情報交換の場面では、取引先の販売状況等を共有し、大変有意義な会議となりました。



## 酒造好適米の安定供給に向けて協議

米麦部と栃木県酒造組合は4月7日(月)、栃木県酒造組合に加盟する県内の蔵元約20社の代表らを参集し、酒造好適米の情勢報告会を開きました。主食用米の市中価格が上昇していることを受け、米の情勢についての情報共有や、7年産以降の酒造好適米の作付維持に向けた今後の対策等について協議しました。

前段として3月18日(月)に、米麦部より栃木県酒造組合の役員に対し、酒造好適米と主食用米を取り巻く情勢を報告した際に、「他の蔵元にも生産現場の状況を知ってもらうべき」というご意見を受け、今回初めての取り組みとして実施しました。

米麦部からは、6年産米の動向について、昨今の米の不足感により主食用米の価格が高止まりしている一方、酒造好適米については出来秋に通年の販売価格を決めているため相場が追い付かず、主食用米の価格が酒造好適米の価格を上回っていることを報告。酒造好適米については、単収が主食用米に比べて少ないことや高い栽培技術が必要なことから、1俵当たりの単価は、これまで主食用米より高い価格帯で取引されてきましたが、昨今の情勢で主食用米と酒造好適米の単価バランスが逆転してしまい、主食用米への転換が危惧されることなども説明しました。

これらの状況を踏まえ、7年産以降の考え方として、栃木県産酒造好適米を安定的にお届けするために、生産者の「再生産価格」を賄える概算金設定への理解を求めました。



## 都内で“たちつとちぎの農産物フェア”開催！

園芸部は、3月13日(木)に東京都内のJA共済ビルで開かれた「JA共済マルシェ」において、“たちつとちぎの農産物フェア”を開催し、栃木県産の農産物の販売とPRを行いました。

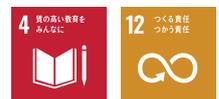
当マルシェはビル近隣住民に向けた地域貢献の一環で、全国各地の農産物のPRを通じて、農業と食の大切さも知っていただくイベントです。

特にいちごは大好評で、開場前から長い行列ができました。会場ではいちごの法被を着用した国府田会長も参加し、消費者に栃木のおいしい農産物の魅力を伝えました。



イベント会場の様子

## 「JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会」に特別協賛



入賞チームへ副賞「とちあいか」「スカイベリー」を贈呈

本会が特別協賛する「JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会」の関東大会が3月15日(土)、16日(日)に佐野市で開催されました。

栃木・茨城・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川の各都県の予選大会を勝ち抜いた計16チームが全国大会出場の座をかけて熱戦を繰り広げました。

開会式に出席した金田副本部長は「スポーツ選手にとって、食事はとても大切です。新鮮な国産農畜産物を食べて、丈夫な体と強い心をつくってください」と挨拶しました。その後、栃木県予選を1位で通過したヴェルフェ矢板のキャプテンが選手宣誓を行いました。

試合結果は優勝「バディーSC(神奈川)」、準優勝「ファナティコス(群馬)」、3位「柏レイソルU-12(千葉)」となり、3チームは見事全国大会への切符をつかみました！



あいさつする金田副本部長



栃木県予選1位通過ヴェルフェ矢板が選手宣誓



決勝戦の様子



田波部長からいちごを贈呈



優勝した「バディーSC」

表彰式では田波管理部長から上位入賞チームへ県産「とちあいか」「スカイベリー」など副賞を贈呈したほか、出場した全チームへ「栃っ子うどん」を贈りました。

今後も「ニッポンの食」「栃木県の食」を通じて、子どもたちの健やかな成長と未来の夢を積極的に応援していきます！

## ビール大麦の安定供給に向けて情報共有



米麦部は3月27日(木)、栃木県農業総合研究センターで「令和7年産ビール大麦品種合同比較試験・春分時調査検討会」を開催しました。

当日はビール会社やビール酒造組合、県など関係者約40人が参加し、令和7年産ビール大麦の生育概況や試験圃場での調査結果などについて情報共有と意見交換を行いました。

県からは今後の技術対策について、排水溝の点検や赤カビ病の適正な防除などの注意喚起があり、ビール会社各社からは、気候変動に対応した栽培指導や安定した生産が見込める品種開発などの要望が寄せられました。



関係者で情報交換



栃木県農業総合研究センター試験圃場視察の様子

## 都内スーパーで消費者にPR 適正価格へ理解醸成

園芸部は4月までに、都内の量販店延べ18店舗で、農畜産物の適正価格への理解を求めるポスターの掲示とチラシの配布を行い、来店客にPRしました。

西友などの都内量販店で定期的に行っている“栃木県産フェア”に合わせて、消費者に適正価格について考えていただくためのポスターを売り場に掲示したほか、試食宣伝の際に来店客一人ひとりにチラシを配り、国産・県産農畜産物を「食べて応援してほしい」というメッセージを伝えました。

今後も、農畜産物の適正価格への理解醸成と消費拡大に向け、様々な取り組みを行っていきます。



売り場にポスターを掲示



チラシを配布

# 令和7年度 新採用職員紹介



4月1日付でJA全農とちぎに入会した13名のフレッシュな新人です！  
温かいご指導・ご支援よろしくお願い致します。



**岡本紗也加**  
(おかもと さやか)

笑顔を忘れずに精一杯業務に取り組み、皆様に信頼される職員となれるよう頑張ります。

- ①生産資材部 農業機械課
- ②ひとりカラオケ、アイドルの推し活
- ③栃木県のオススメ食べ物！  
NASU SHOZO CAFEのスコーン
- ④大好きなパンダを見るために炎天下で150分待ったこと。卒論では中国のパンダ外交について執筆しました。



**北脇 茉奈**  
(きたわき まな)

早く新しい環境になれるように頑張ります。よろしくお願い致します。

- ①米麦部 米穀課
- ②睡眠、アニメ、ドリフ
- ③栃木県のオススメのお店！  
そば処 報徳庵
- ④バスガイドをしたこと



**郷間 達也**  
(ごうま たつや)

一日でも早く業務に慣れ、周りの方から信頼される職員になれるよう、頑張ります。

- ①営農販売企画部 総合販売企画課
- ②卓球、音楽を聴くこと
- ③栃木県のオススメスポット！ 霧降高原
- ④コンサートスタッフのアルバイトを経験しました。有名なピアニストの方と写真を撮らせていただいたのも思い出です。



**坂本 光翼**  
(さかもと つばさ)

一日でも早く皆様の役に立てるよう日々勉強してまいります。よろしくお願い致します。

- ①畜産部 食肉販売課
- ②ゲーム、筋トレ、登山、車
- ③栃木県のオススメスポット！ 日光
- ④研究室で家畜の世話をしていました。卒業研究ではトウモロコシの栽培をしました。



**佐藤 世望**  
(さとう つぐみ)

少しでも早く業務を覚え、栃木県の農業に貢献できるように精一杯頑張ります。

- ①園芸部 園芸総合課
- ②バスケットボール、ドラマ鑑賞
- ③栃木県のオススメカフェ! dough-doughnuts
- ④大学までバスケットボール部に所属し、日々一生懸命活動をしていました。



**長濱 拓暉**  
(ながはま ひろき)

分からないことだらけで色々質問すると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

- ①園芸部 施設運営課
- ②スポーツ観戦
- ③栃木県のオススメラーメン! 喜多見家
- ④学生時代は色々なアルバイトを経験しました。(パチンコ店、コンビニ、図書館、ほうれん草農家など)



**日向野 梢**  
(ひらがの こずえ)

組合員の方にご満足いただけるように、仕事を覚え、役に立てるよう努力します。

- ①生産資材部 肥料農薬課
- ②ゲーム実況を見る、漫画を読む、植物を見ながら散歩する
- ③栃木県のオススメスポット! 千本松牧場と塩原温泉
- ④ストリゴラクトンの生合成解析をしていました。PCR検査、LC-MS/MSを使った分析をしたことがあります。



**回谷 洋輝**  
(めぐりや ひろき)

早く一人前の職員として働けるように、日々努力していきますので、皆様よろしくお祈りします!

- ①園芸部 流通対策課
- ②サッカー、音楽を聴くこと
- ③おすすめラーメン屋! HIBARI
- ④大学ではフライングディスク部に入部し、アルティメットという競技に取り組みました。



**山口 修平**  
(やまぐち しゅうへい)

栃木県の農業に貢献できるように精一杯業務に取り組んで信頼されるよう頑張ります。

- ①営農販売企画部 担い手支援課
- ②読書、水泳
- ③栃木県のオススメスポット! 道の駅もてぎ
- ④歴史研究サークルに所属し、サークルの合宿で静岡の駿府城に行ったことが思い出です。



**青木 元**  
(あおき はじめ)

先輩のような整備士になって、地域農業に貢献できる人になります。

- ①生産資材部 農機一体運営課 なる南広域農機センター
- ②バレーボール、道の駅巡り、筋トレ
- ③栃木県のオススメ公園! 長峰公園
- ④サークル活動(バレーボール)



**篠崎 航太**  
(しのざき こうた)

分からないことがたくさんありご迷惑をお掛けしますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

- ①生産資材部 農機一体運営課 うつのみや広域農機センター
- ②バイクでツーリングをすること、バスケット
- ③栃木県のオススメラーメン! 幸麺
- ④農大祭で焼き芋を焼いたこと



**田代もも花**  
(たしろ ももか)

後々、後輩が入ったときに頼られるように、頑張りたいと思います。

- ①園芸部 園芸資材課 園芸種苗総合センター
- ②睡眠、ゲーム
- ③栃木県のオススメスポット! あしががフラワーパーク
- ④農大で初めて大玉のトマトを栽培したこと(高軒高ハウス)



**山本 元気**  
(やまもと げんき)

頑張ります!

- ①全農パールライス(株) 栃木支店 製造課
- ②バスケット観戦、食べること
- ③栃木県のオススメラーメン! たくさんあります!
- ④高校や大学で検定取得をしたこと、大学で農業をたくさん学んだこと。

- ①所属部署
- ②趣味・特技
- ③栃木県のオススメ○○!
- ④学生時代の思い出・取り組んできたこと (吹き出し) 仕事への意気込み!

お知らせ

# 令和7年産米における集荷回復に向けて 生産者への推進体制を強化します

全農とちぎ米麦部では、JAグループ栃木の7年産米における集荷回復に向けて、生産者への推進を専任として行う職員を新たに4名配置しました。

JAと連携した生産者訪問活動を通して、本会の役割を生産者の方々にご理解いただき、関係性を構築して参ります。



生産者訪問活動の様子

お知らせ

# U字工事出演の ラジオCM放送中!

栃木米アンバサダーU字工事のお二人が出演する栃木米のラジオCMを新たに制作しました。美味しい栃木米を生産する生産者の皆さんへのメッセージを、感謝の気持ちとともにU字工事の訛りでお届けする内容となっております。

5月末までの期間、エフエム栃木、CRT 栃木放送にて放送いたしますので、是非お聴きください!



収録の様子は本会のYouTubeチャンネルからご覧頂けます。



## 簡単レシピ

### 豚肉と新じゃがのプルコギ風炒め



ポイント!



栃木推進課 管理栄養士  
小杉 彩さん

新じゃがは収穫後間もないため水分を多く含み、みずみずしくやわらかな食感を楽しむことができます。「新じゃが」を堪能できるのは、旬を迎える春の時期だけ。見かけたらぜひ手に取ってみてください♪

(アドバイス表2024年5月 基本コースP9)

#### 〈材料〉(2人分)

・豚肉切り落とし	200g
・新じゃがいも	2個
・人参	1/2本
・にら	1/2束(4cm)
・白ごま	適量
・しょうゆ・酒	各大さじ2
・ごま油	大さじ2
① 白ごま	大さじ2
・砂糖	大さじ1
・にんにく(すりおろす)	小さじ1/2

#### ■作り方■

- 1 じゃがいもと人参はそれぞれ3cm幅の細切りにする。
- 2 ボウルに①を入れて混ぜ合わせ、豚肉、じゃがいも、人参を入れて1時間程度冷蔵庫で味を馴染ませる。
- 3 フライパンに中火で熱し、②をたれごとに入れて炒め、肉の色が変わったら蓋をして3分程度蒸し焼きにする。途中にらを加えて炒め、全体に火が通ったら器に盛り付け白ごまを振る。

ふれあい食材についてはこちらから!





# 子牛市場情報

令和7年度4月矢板家畜市場成績書

	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	167	163	753,500	188,100	567,188	299(291)	1,895	-8,178
	雄	1	1	535,700	535,700	535,700	371(326)	1,443	-
	去勢	178	178	1,106,600	234,300	757,708	334(291)	2,266	19,115
	合計	346	342	1,106,600	188,100	666,255	317(291)	2,097	-2,082
2日	雌	149	149	909,700	324,500	586,558	292(293)	2,002	18,863
	雄	-	-	-	-	-	-	-	-
	去勢	240	240	1,085,700	339,900	768,391	331(290)	2,318	17,509
	合計	389	389	1,085,700	324,500	698,743	316(291)	2,206	35,627
4月期合計	雌	316	312	909,700	188,100	576,438	296(292)	1,945	5,398
	雄	1	1	535,700	535,700	535,700	371(326)	1,443	-
	去勢	418	418	1,106,600	234,300	763,842	332(291)	2,296	18,918
	合計	735	731	1,106,600	188,100	683,543	317(291)	2,155	18,012
概況	<p>4月の矢板家畜市場は、735頭上場にて731頭が成立し、前年同月比43頭減となりました。平均価格は対前月比雌5,398円高、去勢18,918円高となりました。多数の購買者にご来場いただき、雌・去勢ともに活発な取引となりました。</p> <p>購買者数 1日目：145人 2日目：154人</p>								

○次回開催/2025年5月1日～2日 出場予定:各350頭(2025年6月の開催は、2日・3日です。)

## とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ



### おすすめ商品のご紹介

## 「とちぎ和牛サーロインステーキ」

柔らかく、とろけるような霜降り肉が自慢のとちぎ和牛を是非、ご堪能ください。

他にも焼肉用、すき焼き用など、食べ方に応じてお買い求めいただけます！



とちぎ新鮮倉庫

## 5月の行事

- 1日(木) 矢板子牛市場 畜産部
- 2日(金) 矢板子牛市場 畜産部
- 4日(日) 全農杯全日本卓球選手権大会(ホカバの部)
- 11日(日) \*\* 母の日 \*\*
- 12日(月) 県本部運営委員会

## 編集後記

5月になりました。最近心地いい陽気で、部屋にいてもウトウト…運転中もウトウト…してしまいそうになりますが、くれぐれも交通事故には気を付けましょう。

どうしても眠くなってしまったとき、眠気を覚ますツボやカフェインなど色々試しましたが、個人的には「手のひらをキンキンに冷やす」が一番すっきりします。ぜひ試してみてください。

(ミウ)



● CRT栃木放送「今朝も元気でいってらっしゃい」  
6日(火) 7:33～7:38(5分間)

● RADIO BERRY FM栃木「Do You 農? たちつととちぎ」  
7日、14日、21日、28日(水) 17:15～17:20(5分間)

食  
べ  
る  
こ  
と  
が  
一  
番  
の  
応  
援  
。

全農所属 石川佳純

買う人は安い方がいい。  
売る人は高い方がいい。

立場が変われば、  
価格に対する気持ちは変わる。

それでも絶対に変わらない確かなこと。  
それは、楽な仕事はないということ。

食べる人に喜んでほしいという想いで  
雨の日も雪の日も、  
朝早くから畑へと足を運ぶ人がいます。

そんな野菜たちが  
今あなたの元へと届けられています。

食べることが一番の応援。

Think Sustainable Price

全農

ZEN-NOH



この印刷物は環境にやさしい植物油  
インクと再生紙を使用しています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を  
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。